

SNS の利用による学校適応感への影響

宇都慎一郎（鹿児島県総合教育センター）

キーワード：学校適応感，SNS

目 的

スマートフォンの普及に伴い LINE などの無料通話アプリ等のソーシャル・ネットワーキング・サービス(以下「SNS」という。)を利用する児童生徒が増加しており、インターネット上でのつながりは日常的な営みとなっている。このような状況の中において、児童生徒の学校における適応感は、どのような実態になっているのであろうか。

そこで、本研究では、SNS の利用状況が児童生徒の学校適応感に及ぼしている影響を当教育センターが開発した「学校楽しいーと」の調査から分析し、児童生徒の学校適応感を高める指導・支援の在り方について考察した。

方 法

調査対象 鹿児島県内の小学 6 年生 698 名、中学 2 年生 655 名、高校 1 年生 480 名、高校 2 年生 474 名の計 2307 名。

質問紙 質問紙は、「学校楽しいーと」の質問項目に、SNS 利用実態の質問項目を併せて構成したマークシート形式による質問紙で実施した。

調査時期 調査は 2015 年 6 ～ 7 月に実施。

結果・考察

学年ごとに「SNS を利用するグループ」と「SNS をしないグループ」に分けて、「学校楽しいーと」の 6 観点の平均値及び標準偏差値を算出し、平均値の差が有意なものかを t 検定を行った (Table1)。分析の結果、小学 6 年生は、「友達との関係」の観点において、SNS をするグループの平均値が SNS

をしないグループの平均値より有意に高いことが示された。中学 2 年生では、小学 6 年生と同じく「友達との関係」の観点において SNS をするグループが SNS をしないグループの平均値より有意に高いことが示されたが、「心身の状態」、「教師との関係」、「学習意欲」の観点については、SNS をするグループが SNS をしないグループの平均値より有意に低いことが示された。高校 1 年生では、「自己肯定感」、「学級集団における適応感」、「友達との関係」の観点において、SNS をするグループが SNS をしないグループの平均値より有意に高いことが示された。そして、高校 2 年生では、「学級集団における適応感」、「友達との関係」の観点において、SNS をするグループが SNS をしないグループの平均値より有意に高いことが示された。

以上の結果から、調査した全ての学年において SNS をする児童生徒の「友達との関係」は有意に高い平均値になっていたことから、SNS をしない児童生徒は友達関係に悩んでいることが明らかとなった。また、SNS の利用が多い高校生においては、SNS を利用しない生徒は、学級集団における適応感も低くなることが明らかとなった。このようなことから、SNS を利用しない児童生徒は、学級集団に対して疎外感をもち人間関係が希薄になりやすいことから、学校適応感を高める指導・支援には交友関係を育む取り組みが必要になっていることが明らかになった。

Table 1 SNS をしないグループと SNS をするグループの「学校楽しいーと」6 観点の平均値と T 検定

小学 6 年生					
	SNS をしない (N=365)		SNS をする (N=333)		t 値
	M	SD	M	SD	
友達との関係	13.21	2.28	13.52	2.29	-1.80†
教師との関係	13.21	2.33	13.52	2.14	-0.44
学習意欲	12.59	2.03	12.64	1.91	-0.30
自己肯定感	11.01	2.42	11.20	2.34	-1.05
心身の状態	10.84	2.96	10.48	2.95	1.59
学級集団における適応感	13.04	2.37	12.97	2.17	0.41

中学 2 年生					
	SNS をしない (N=245)		SNS をする (N=414)		t 値
	M	SD	M	SD	
友達との関係	12.55	2.18	12.96	2.08	-2.41*
教師との関係	10.87	2.36	10.32	2.41	2.84**
学習意欲	11.78	2.13	11.31	2.02	2.80**
自己肯定感	10.63	2.50	10.61	2.19	0.10
心身の状態	10.67	2.82	10.08	2.96	2.51*
学級集団における適応感	12.08	2.64	12.31	2.37	-1.18

高校 1 年生					
	SNS をしない (N=14)		SNS をする (N=458)		t 値
	M	SD	M	SD	
友達との関係	10.67	2.19	12.62	1.86	-3.75***
教師との関係	9.67	1.80	10.31	2.14	-1.15
学習意欲	10.53	1.73	11.03	1.69	-1.11
自己肯定感	9.53	2.45	10.60	1.92	-2.11*
心身の状態	10.47	2.36	9.92	2.61	0.81
学級集団における適応感	10.40	2.72	12.15	2.13	-3.10**

高校 2 年生					
	SNS をしない (N=19)		SNS をする (N=457)		t 値
	M	SD	M	SD	
友達との関係	10.11	2.33	12.61	1.97	-5.39***
教師との関係	10.94	2.31	10.19	2.19	1.43
学習意欲	11.22	1.90	11.27	1.81	-1.10
自己肯定感	9.95	2.25	10.56	1.92	-1.35
心身の状態	9.89	2.11	10.05	2.68	-0.25
学級集団における適応感	10.56	2.31	12.44	2.27	-3.46**

・ 最大値は16で、数値が高いほど良好であることを示す。

・ T 検定の † は 10% 水準、* は 5% 水準、** は 1% 水準、*** は 0.1% 水準を示す。※ n.s. (not significant : 非有意) は表記せず。